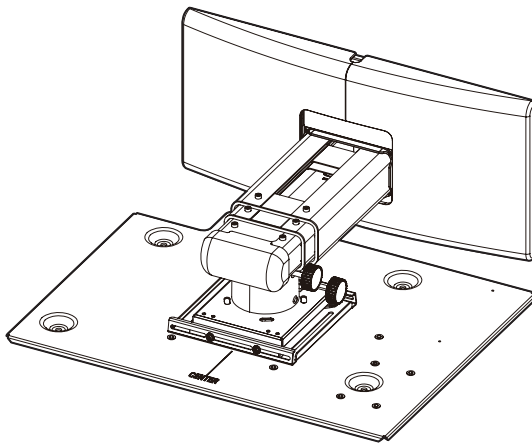


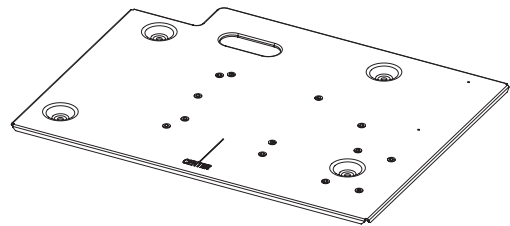
施工説明書

壁掛取付金具

品番 **ET-WBC100**
ET-PKC300B



ET-WBC100



ET-PKC300B

日本語

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ この施工説明書は、次の製品のものとして共用しています。

壁掛取付金具：ET-WBC100

取付用ベース金具：ET-PKC300B

■ お客様へ

この「施工説明書」は、工事業者様用です。施工は、必ず工事専門業者にご依頼ください。

また、工事完了後は、この「施工説明書」を工事業者様よりお受け取りのうえ、大切に保管してください。

移設、撤去の際には、工事専門業者にご依頼のうえ、この「施工説明書」をお渡しください。

■ 工事業者様へ

この「施工説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

特に“安全上のご注意”（ 3～4 ページ）は、施工前に必ずお読みください。

工事完了後は、この「施工説明書」をお客様にお渡しください。

■ もくじ

安全上のご注意	3
金具の構成 (ET-WBC100)	5
金具の構成 (ET-PKC300B)	6
取付工事寸法 (ET-WBC100)	7
取り付け方 (ET-WBC100)	10
スクリーンの取り付け	10
ねじ類の締めつけトルク	10
プロジェクターへの落下防止セットの取り付け	10
プロジェクターへの取付用ベース金具セットの取り付け	11
壁への壁掛取付金具本体の取り付け	12
壁掛取付金具本体へのプロジェクターの取り付け	13
壁へのワイヤーロープの固定	14
カバーの取り付け	15
設置調整 (ET-WBC100)	16
取付用ベース金具の交換 (ET-PKC300B)	20
連結プレートの取り外し	20
連結プレートの取り付け	20
仕様 (ET-WBC100)	21
付録	22
ワイヤレスプレゼンテーションシステム受信機の取り付け	22
4K インテグレートッドカメラの取り付け	22

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。



警告

	■ 壁面への取り付け（壁掛け）などの設置工事は工事専門業者あるいは購入店に依頼する （工事の不備により、大きな事故の原因となります。） ⇒本書の“取り付け方”、“取付用ベース金具の交換”に従って確実に施工してください。
	■ 取り付け場所の構造、材質に合った工事を行う （工法を誤ると壁掛取付金具が落下してけがの原因となります。）
	■ 取り付け作業は2人以上で行う （頭上または高所への取り付け、プロジェクター本体の取り扱いを考慮し、取り付け作業は2人以上で行ってください。）
	■ 取り付け作業は足場の安全を確保して行う （倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。）
	■ 壁掛取付金具のねじ・ボルト類は、不用意に取り外したり、緩めたりしない （プロジェクターが落下して、けがの原因となります。）
	■ 強度の不足する場所に取り付けない （落下などによるプロジェクターの破損や、大きな事故・けがの原因になります。）
	■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱の発生する所に取り付けない （火災・感電の原因となることがあります。また、油により樹脂が劣化し、壁掛け設置のときに落下するおそれがあります。）
	■ 付属の座金組み込みねじ、フランジ付きねじ、平ワッシャーは、乳幼児の手の届くところに置かない （誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。） ⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
 分解禁止	■ 壁掛取付金具を分解したり、改造したりしない （こわれたり、落下してけがをしたりする原因になります。）



注意



■ 指定のプロジェクター以外は取り付けない

■ 指定の方法以外の取り付けは行わない

（落下したり、破損してけがの原因になります。）

■ プロジェクターの吸排気を妨げる場所に設置しない

（火災の原因となることがあります。）

■ プロジェクター本体や壁掛取付金具にぶら下がったり、ものをぶら下げたりしない

（プロジェクターが落下してけがの原因となることがあります。）



■ 取り付けの際は、必ず付属の構成部品を使用する

（こわれたりプロジェクターが落下してけがの原因になります。）

■ 取り付けねじや電源コードが壁や天井内部の金属部と接触しないように設置する

（壁や天井内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。）

- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときは、パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社は責任を負えません。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ、速やかに撤去してください。

金具の構成 (ET-WBC100)

本製品「壁掛取付金具」(品番:ET-WBC100)は、プロジェクターを壁面に設置する際に使用します。

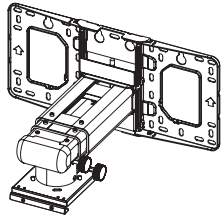
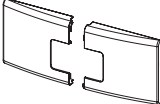
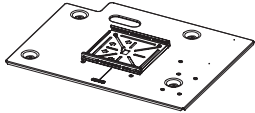
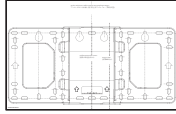
■ 対応しているプロジェクター

PT-CMZ50

お知らせ

- 本書では、プロジェクターの製品品番末尾のアルファベット記号を省略しています。
- 上記以外の機種についても対応している場合があります。ご使用のプロジェクターの取扱説明書または次の WEB サイトでご確認ください。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>

■ 構成部品一覧

品 名	外 観 (数量)	用 途
壁掛取付金具本体	 1 個	壁面に取り付けて、製品全体を支える金具です。 奥行方向と高さ方向の移動調整機能と 3 方向（上下、左右、回転）の傾き調整機能があります。
マウントカバー	 1 対	壁掛取付金具に取り付けます。
取付用ベース金具セット	 1 個	プロジェクターを壁掛取付金具本体に組み付ける金具です。取付用ベース金具と連結プレートで構成されています。 左右方向の移動調整機能があります。
ねじ類	 座金組み込みねじ (M6 × 16)	4 本 プロジェクターへの取付用ベース金具セットの固定に使用します。
	 フランジ付きねじ (M4 × 10)	4 本 壁掛取付金具本体への取付用ベース金具セットの固定に使用します。
落下防止セット	 座金組み込みねじ (M6 × 16)	1 本
	 ワイヤーロープ (線径 3.0 mm, 長さ 750 mm)	1 本
	 ワイヤーロープ (線径 3.0 mm, 長さ 660 mm)	1 本
	 平ワッシャー (M6)	1 個
テンプレートシート	 1 枚	壁掛取付金具本体を壁に取り付けるためのねじ穴の位置決めに使用します。

- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- ねじ類の締めつけトルクは、M4: 1.25 ± 0.2 N・m (フランジ付きねじを除く)、M6: 4 ± 0.5 N・m で管理してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーなどを使用し、電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

お願い

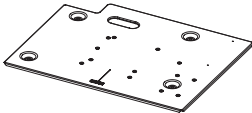
- 包装材料は製品を取り出したあと、適切に処理してください。

金具の構成（ET-PKC300B）

本製品「取付用ベース金具」（品番：ET-PKC300B）は、既設の壁掛取付金具の取付用ベース金具部分を交換する場合に使用します。

交換の手順については“取付用ベース金具の交換（ET-PKC300B）”（👉 20 ページ）をご覧ください。

■ 構成部品一覧

品 名	外 観（数量）	用 途
取付用ベース金具	 1 個	プロジェクターを壁掛取付金具本体に組み付ける際に使用する金具です。
ねじ類	 座金組み込みねじ（M6 × 16） 4 本	プロジェクターへの取付用ベース金具の固定に使用します。
	 座金組み込みねじ（M4 × 14） 5 本	本製品への連結プレートの固定に使用します。連結プレートは、既設の壁掛取付金具から取り外します。
落下防止セット	 1 本	プロジェクターの落下防止のために使用します。 ワイヤーロープは、2 本のうちいずれか一方を選択して使用します。
	 1 本	
	 1 本	
	 1 個	

- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- ねじ類の締めつけトルクは、M4：1.25 ± 0.2 N・m、M6：4 ± 0.5 N・m で管理してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーなどを使用し、電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

お願い

- 包装材料は製品を取り出したあと、適切に処理してください。

取付工事寸法（ET-WBC100）

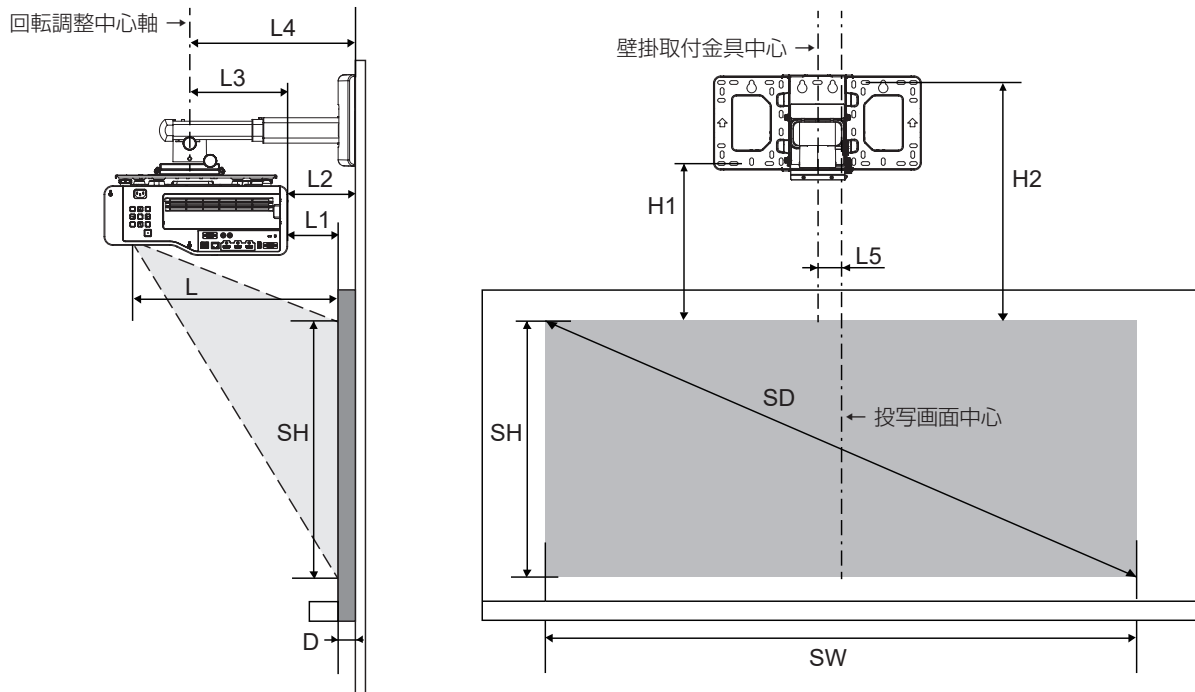
スクリーンとプロジェクターとの投写関係は次のとおりです。

“投写関係図”（ 7 ページ）および“投写関係寸法”（ 8 ページ）をご確認のうえ、壁への取り付け位置を決めてください。

投写画面サイズは、スクリーンからプロジェクターまでの距離を変更することで調整できます。投写画面サイズの調整方法について詳しくは、“投写画面サイズを調整する場合（前後スライド）”（ 16 ページ）をご覧ください。

■ 投写関係図

<PT-CMZ50 の場合>



お知らせ

- 本書内のプロジェクターのイラストはイメージです。実際の製品とは形状が異なる場合があります。
- このイラストは正確な縮尺ではありません。

SH	投写画面高さ
SW	投写画面幅
SD	投写画面サイズ
L	投写距離（スクリーン面からミラー反射面*までの距離）
D	壁面からスクリーン面までの距離
L1	スクリーン面からプロジェクター後面までの距離
L2	プロジェクター後面から壁面までの距離
L3	水平方向の回転調整の中心軸からプロジェクター後面までの距離（225 mm）
L4	壁面から回転調整中心軸までの距離
L5	投写画面中心から壁掛取付金具中心までの距離（47.5 mm）
H1	投写画面上端から壁掛取付金具固定用ねじ穴（下側）の中心までの距離
H2	投写画面上端から壁掛取付金具固定用ねじ穴（上側）の中心までの距離

* ミラー反射面はプロジェクター内部に位置するため外側からは確認できません。

お願い

- 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから十分に離して設置してください。プロジェクター本体から周辺の壁やものまでの必要距離については、ご使用のプロジェクターの取扱説明書でご確認ください。また、密閉した空間に設置する場合は、別途、空調設備、換気設備を設けてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、プロジェクターの保護回路がはたらくことがあります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所には設置しないでください。

取付工事寸法（ET-WBC100）（つづき）

■ 投写関係寸法

表中に記載のない投写画面サイズでご使用の場合は、画面对角サイズ SD (m) をご確認ください。 “投写関係寸法計算式” (9 ページ) に記載の計算式で必要寸法を算出してください。

<PT-CMZ50 の場合>

表内の各寸法は、プロジェクター本体の [位置調整] メニュー → [スクリーン補正] → [デジタルズーム拡張] を [オフ] に設定して、デジタルズーム拡張機能を無効にした場合のものです。

(単位：m)

投写画面サイズ (アスペクト比 16 : 10 の場合)			L	L1	H1 ^{*1}	H2 ^{*1}
SD	SH	SW				
2.03 (80 型)	1.077	1.723	0.41	0.010	0.346	0.519
2.16 (85 型)	1.144	1.831	0.43	0.033	0.358	0.531
2.29 (90 型)	1.212	1.939	0.46	0.055	0.370	0.543
2.41 (95 型)	1.279	2.046	0.48	0.078	0.381	0.554
2.54 (100 型)	1.346	2.154	0.50	0.10	0.393	0.566
2.79 (110 型)	1.481	2.369	0.55	0.15	0.417	0.590
3.05 (120 型)	1.615	2.585	0.59	0.19	0.441	0.614

投写画面サイズ (アスペクト比 16 : 9 の場合)			L	L1	H1 ^{*1}	H2 ^{*1}
SD	SH	SW				
2.03 (80 型)	0.996	1.771	0.42	0.020	0.407	0.580
2.16 (85 型)	1.058	1.882	0.44	0.043	0.422	0.595
2.29 (90 型)	1.121	1.992	0.47	0.067	0.438	0.611
2.41 (95 型)	1.183	2.103	0.49	0.090	0.453	0.626
2.54 (100 型)	1.245	2.214	0.51	0.11	0.469	0.642
2.79 (110 型)	1.370	2.435	0.56	0.16	0.500	0.673
3.05 (120 型)	1.494	2.657	0.61	0.21	0.532	0.705

投写画面サイズ (アスペクト比 4 : 3 の場合)			L	L1	H1 ^{*1}	H2 ^{*1}
SD	SH	SW				
1.78 (70 型)	1.067	1.422	0.41	0.007	0.344	0.517
1.91 (75 型)	1.143	1.524	0.43	0.032	0.358	0.531
2.03 (80 型)	1.219	1.626	0.46	0.058	0.371	0.544
2.16 (85 型)	1.295	1.727	0.48	0.083	0.384	0.557
2.29 (90 型)	1.372	1.829	0.51	0.11	0.398	0.571
2.41 (95 型)	1.448	1.930	0.54	0.13	0.411	0.584
2.54 (100 型)	1.524	2.032	0.56	0.16	0.425	0.598
2.79 (110 型)	1.676	2.235	0.61	0.21	0.451	0.624

*1 表中の数値は出荷状態でのアーム高さを基準としています。

取付工事寸法（ET-WBC100）（つづき）

■ 投写関係寸法計算式

“投写関係寸法”（ 8 ページ）に記載のない投写画面サイズでご使用の場合は、画面对角サイズ SD（m）をご確認のうえ、次の計算式で必要寸法を算出してください。

計算式で求められる値には若干の誤差があります。

投写画面サイズの呼称（インチ数値）で計算する場合は、インチ数値を 0.0254 倍したものを計算式の SD に代入してください。

<PT-CMZ50 の場合>

アスペクト比	16 : 10	16 : 9	4 : 3
投写画面高さ (SH)	$= 0.530 \times SD$	$= 0.490 \times SD$	$= 0.6 \times SD$
投写画面幅 (SW)	$= 0.848 \times SD$	$= 0.872 \times SD$	$= 0.8 \times SD$
投写距離 (L)	$= 0.1782 \times SD + 0.0485$	$= 0.1831 \times SD + 0.0485$	$= 0.2017 \times SD + 0.0485$
スクリーン面からプロジェクター後面までの距離 (L1)	$= 0.0100 + (L - 0.4105)$		
プロジェクター後面から壁面までの距離 (L2)	$= L1 + D$		
壁面から回転調整中心軸までの距離 (L4)	$= L1 + L3 + D$ または $= 0.0100 + (L - 0.4105) + L3 + D$		
投写画面上端から壁掛取付金具固定用ねじ（下側）の中心までの距離 (H1)	$= 0.0933 \times SD + 0.1564$	$= 0.1231 \times SD + 0.1564$	$= 0.1056 \times SD + 0.1564$
投写画面上端から壁掛取付金具固定用ねじ（上側）の中心までの距離 (H2)	$= 0.0933 \times SD + 0.3294$	$= 0.1231 \times SD + 0.3294$	$= 0.1056 \times SD + 0.3294$

取り付け方 (ET-WBC100)

“取付工事寸法” (👉 7 ページ) をご参照いただき、設置される場所の高さや広さ、建物や壁の構造をご確認のうえ、スクリーンとプロジェクターの取り付け位置を決めてください。

■ 取り付け手順

以下の手順で壁掛取付金具を取り付けてください。プロジェクターの端子に接続するケーブル類の配線は金具を取り付ける前に済ませてください。

- 1) スクリーンを取り付ける (👉 10 ページ)
- 2) プロジェクターに落下防止セットを取り付ける (👉 10 ページ)
- 3) プロジェクターに取付用ベース金具セットを取り付ける (👉 11 ページ)
- 4) 壁に壁掛取付金具本体を取り付ける (👉 12 ページ)
- 5) 壁掛取付金具本体にプロジェクターを取り付ける (👉 13 ページ)
- 6) 壁にワイヤーロープを固定する (👉 14 ページ)
- 7) カバーを取り付ける (👉 15 ページ)

お知らせ

- 壁掛取付金具本体の壁への取り付けに必要な M8 のボルト、ナット、ワッシャー、アンカーナット、カールプラグなどは市販品をお求めください。
- 落下防止用ワイヤーロープの壁への固定に必要な M10 のボルト、ナット、ワッシャー、アンカーナット、カールプラグなどは市販品をお求めください。

スクリーンの取り付け

プロジェクターとの位置関係を考慮のうえ、使用するスクリーンの種類に合わせて、指定された工事方法でスクリーンを取り付けてください。

ねじ類の締めつけトルク

M4……………1.25 ± 0.2 N・m (フランジ付きねじを除く)

M6……………4 ± 0.5 N・m (六角穴付きボルト M6 × 15 mm を除く)

- ねじ類の取り付けの際は、トルクドライバーやトルクレンチなどを使用し、規定値内のトルクで締めつけてください。電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。
- アンカーナットに六角ボルトを締めつけるときは、アンカーメーカー推奨の締めつけトルクで締めつけてください。
- M8、M10 のアンカーナットまたはカールプラグへに取り付けるねじ類は、そのメーカーが指定するトルクで締めつけてください。

プロジェクターへの落下防止セットの取り付け

プロジェクター (別売品) に落下防止用のワイヤーロープを取り付けます。

<PT-CMZ50 の場合>

- 1) 柔らかい布などの上に、プロジェクターを底面を上にして置く (図 1)
- 2) アジャスター脚を最短の状態にする (図 1)
 - アジャスター脚を最短の状態になるまで時計方向に回してください。

取り付け方 (ET-WBC100) (つづき)

- 3) 付属のワイヤーロープの一方の先端を、付属の座金組み込みねじ (M6 × 16) 1 本と付属の平ワッシャー (M6) 1 個を用いてプロジェクターの A 部に固定する (図 2)

- ワイヤーロープは、プロジェクター後面から壁面までの距離 (L2) を目安に選択してください。
L2 が 0 mm ~ 150 mm の場合 : 長さ 660 mm のワイヤーロープ
L2 が 150 mm 超 ~ 270 mm の場合 : 長さ 750 mm のワイヤーロープ

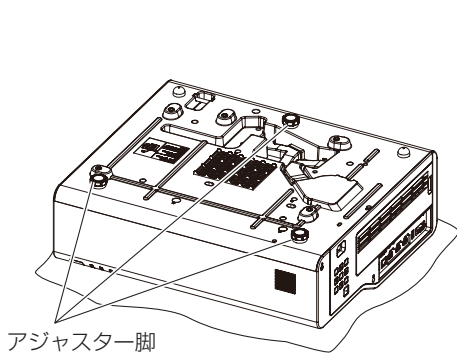


図 1

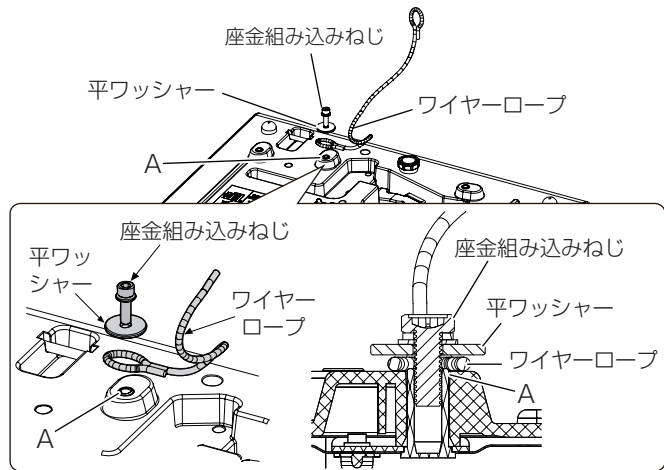


図 2

お願い

- ワイヤーロープは、必ず本製品に付属のものを使用してください。

プロジェクターへの取付用ベース金具セットの取り付け

プロジェクター (別売品) に取付用ベース金具セットを取り付けます。

<PT-CMZ50 の場合>

- 1) プロジェクターに取り付けたワイヤーロープの先端を、取付用ベース金具セットの開口部に通して引き上げる (図 1)
- 2) プロジェクターの底面に取付用ベース金具セットを取り付け、付属の座金組み込みねじ (M6 × 16) 4 本でしっかりと固定する (図 2)

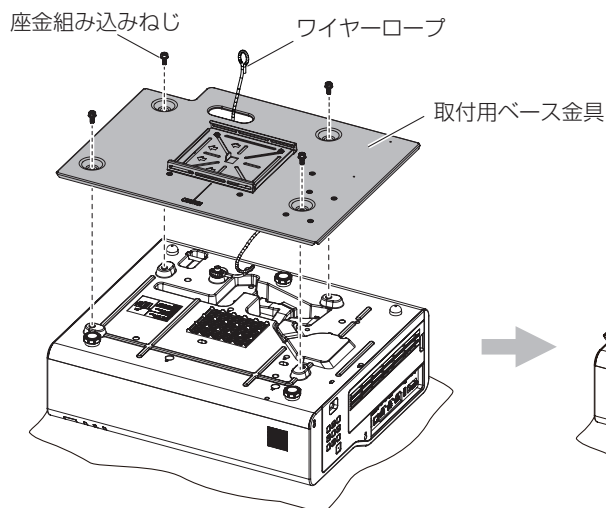


図 1

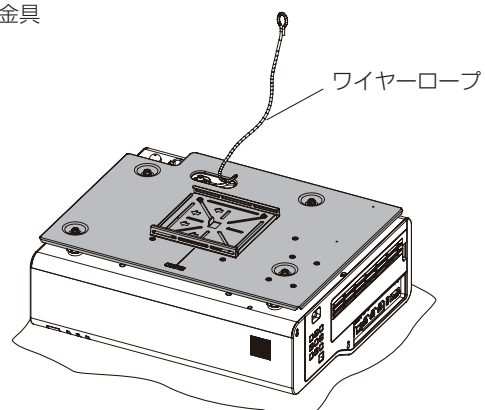


図 2

取り付け方 (ET-WBC100) (つづき)

壁への壁掛取付金具本体の取り付け

- 1) “取付工事寸法” (☞ 7 ページ) で確認した金具の取付位置に合わせて、テンプレートシートを仮貼りする (図 1)
 - テンプレートシート上の「投写画面中心」の縦線が、投写画面の中心位置に重なるようにしてください。
- 2) 仮固定用のねじ穴位置 4 か所 (図 2) のうち、取り付け時のバランスが取れる 2 か所を選択し、それぞれの位置に市販の M8 ねじを打つ
 - 壁掛取付金具を引っ掛けられるよう、ねじの頭部と壁面との間を 2 ~ 4 mm 開けてください。金具の板厚は 2 mm です。
- 3) 周囲 8 か所の固定場所 (図 3 の丸枠内) に対して、それぞれねじ穴位置を 1 か所以上 (合計 8 か所以上) 選択する

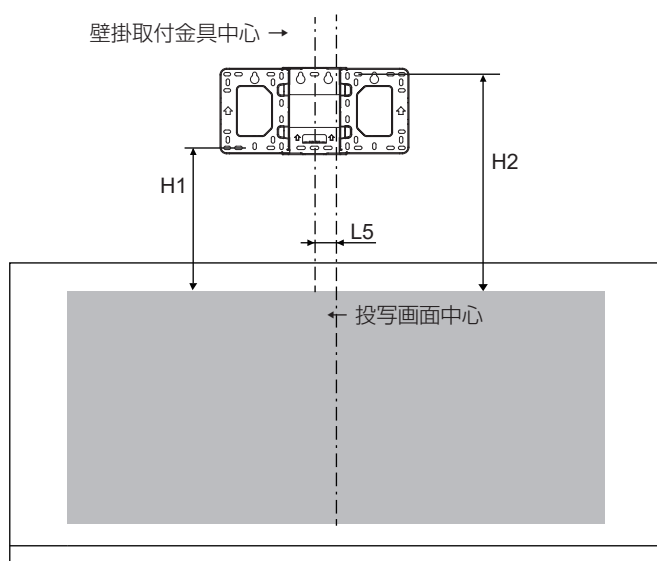
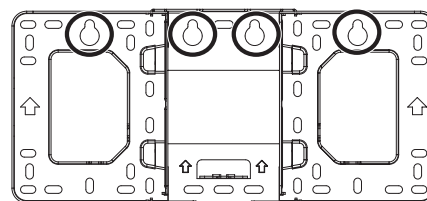
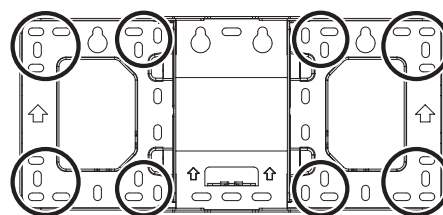


図 1



M8 用

図 2



M6 用

図 3

4) 壁掛取付金具本体を壁に取り付ける

● 取り付け先が木造壁の場合 (図 4)

- ① 手順 3) で選択したねじ穴位置全て (合計 8 か所以上) に、ドリルで壁に M6 用の貫通穴を開ける
 - ボルトを固定する場所の強度が不足している場合は、安全係数に留意して十分な補強を行ってください。
- ② テンプレートシートを取り外す
- ③ 手順 2) で壁に打った M8 ねじ 2 か所に壁掛取付金具本体を引っ掛ける
- ④ 手順 ① で開けた貫通穴全てに M6 ボルトを使用して、壁掛取付金具本体を壁にしっかりと固定する

● 取り付け先がコンクリート壁の場合 (図 5)

- ① 手順 3) で選択したねじ穴位置全て (合計 8 か所以上) に M6 用のアンカーナットまたはカールプラグを取り付ける
 - アンカーナットまたはカールプラグの取り付けはそれぞれのメーカーが指定する施工基準に従い、抜けや緩みのないよう、また、位置ずれが発生しないよう、十分に注意してください。
 - コンクリート壁の強度が不足している場合は、鉄骨や木材で十分な補強を行ってください。
- ② テンプレートシートを取り外す
- ③ 手順 2) で壁に打った M8 ねじ 2 か所に壁掛取付金具本体を引っ掛ける
- ④ 手順 ① で取り付けした全てのアンカーナットまたはカールプラグに M6 ボルトを使用して、壁掛取付金具本体を壁にしっかりと固定する

取り付け方 (ET-WBC100) (つづき)

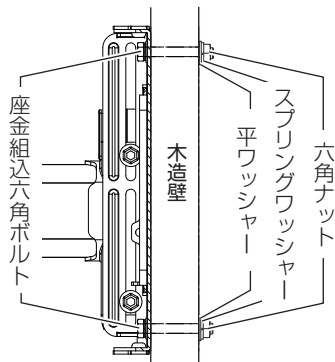


図 4

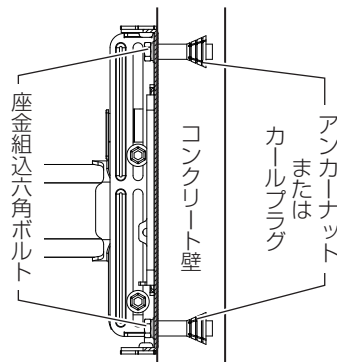


図 5

お願い

- 各ボルト、六角ナット、スプリングワッシャー、アンカーナットまたはカールプラグは、M6 用を必ずご使用ください。
- 各ボルト、ナットは確実に締めつけ、緩みが発生しないように必要に応じダブルナット、ねじロック処理を行ってください。

壁掛取付金具本体へのプロジェクターの取り付け

- 1) 壁掛取付金具本体からアームカバーを取り外す (図 1)
 - カバーの上側から取り外してください。
- 2) プロジェクターが取り付けられた状態で、取付用ベース金具セット上の連結プレートを、壁掛取付金具本体の調整ユニット部にスライドさせてはめ込む (図 2)
 - 連結プレート上の中央付近に、取付用ベース金具セットのはめ込み方向が矢印で刻印されています。

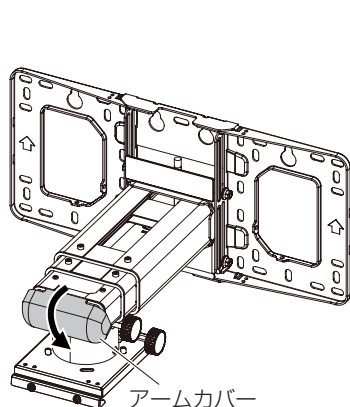


図 1

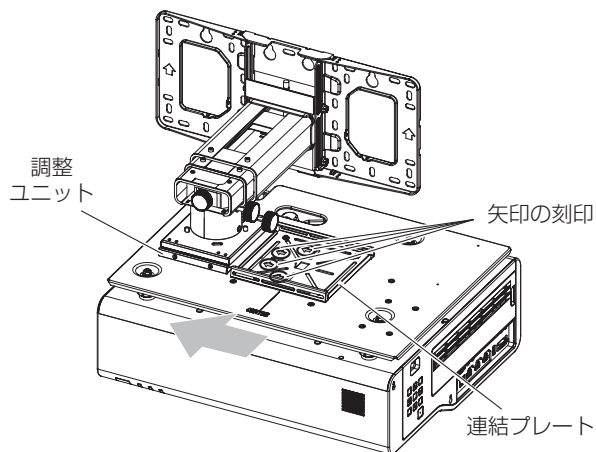


図 2

- 3) 取付用ベース金具セットの中心位置を、壁掛取付金具本体の中心に合わせる
 - 調整ユニットの 2 つのねじ穴が、連結プレートの長穴の左端に位置するように、取付用ベース金具セットの位置を調整する (図 3)

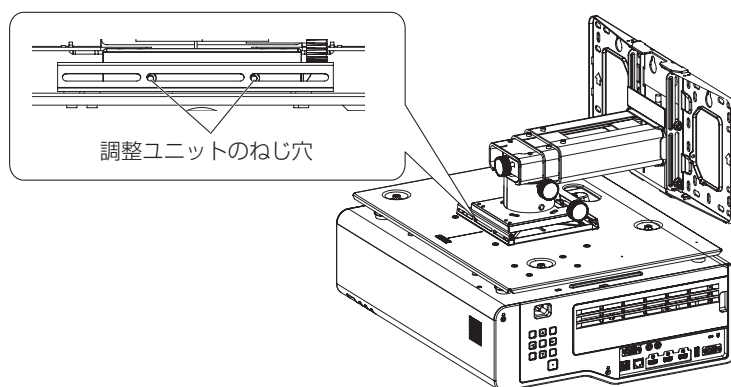


図 3

取り付け方 (ET-WBC100) (つづき)

- 4) 取付用ベース金具を、付属のフランジ付きねじ (M4 × 10) 4 本で壁掛取付金具本体に固定する (図 4)
- フランジ付きねじの締めつけトルク: $0.8 \pm 0.2 \text{ N}\cdot\text{m}$
 - プラスドライバーが金具に干渉して壁面側のフランジ付きねじを締めつけられない場合は、アームを引き出したうえでねじを締めつけてください。アームの引き出し方については、“投写画面サイズを調整する場合 (前後スライド)” (16 ページ) をご覧ください。
- 5) ワイヤロープをアームの中に通し、壁掛取付金具本体の上部に引き出す (図 5)

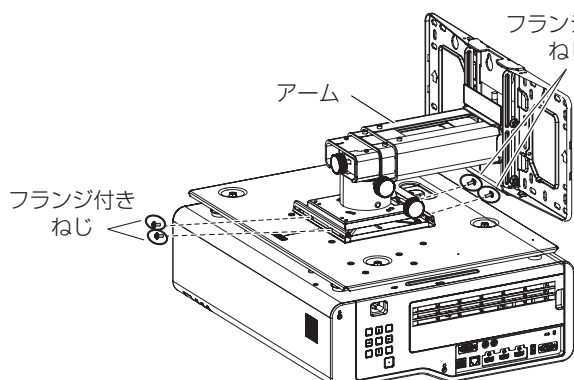


図 4

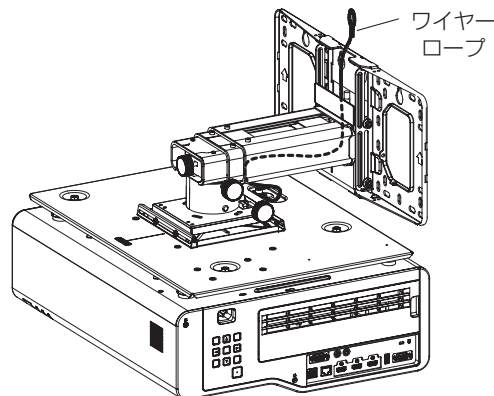


図 5

壁へのワイヤロープの固定

プロジェクター本体に取り付けたワイヤロープのもう一方の先端を壁に固定します。

*この手順は、取り付け先がコンクリート壁の場合、および、市販のつりボルト (M10)、アンカーナットまたはカールプラグを使用することを前提として説明しています。また、外径が 30 mm 以上の市販品の平ワッシャー 1 個が必要になります。

- 1) アンカーナットまたはカールプラグ (M10) を、しっかりしたコンクリート壁 (1 か所) に取り付ける (図 1)
- 取り付け部が木造の場合は、壁に貫通穴を 1 か所あけ、市販の平ワッシャー (M10) と六角ナット (M10) でつりボルト (M10) を取り付けます (図 2)。

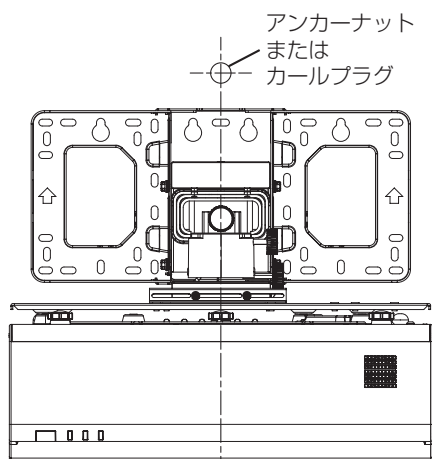


図 1

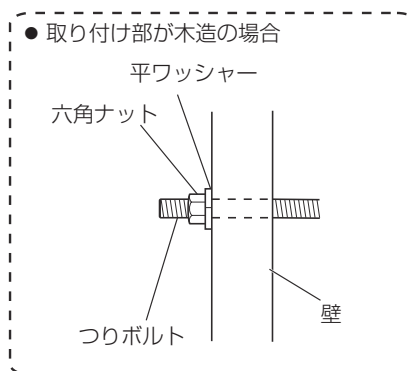


図 2

- 2) 市販の六角ボルト (M10) を、市販のスプリングワッシャー (M10)、平ワッシャー (M10)、ワイヤロープの先端の輪に通してアンカー部に取り付け締めつける (図 3)
- 取り付け部が木造の場合は、つりボルトにワイヤロープの先端の輪を通し、つりボルトを壁にしっかりと固定してください (図 4)。

取り付け方 (ET-WBC100) (つづき)

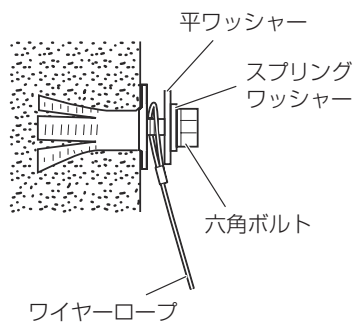


図 3

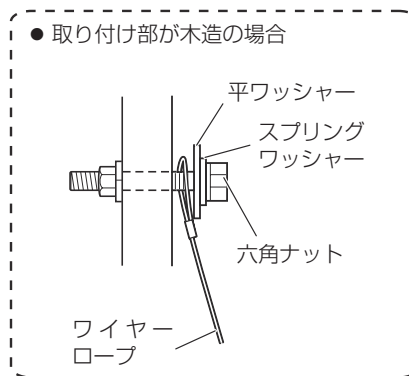


図 4

お願い

- アンカーナットまたはカールプラグ、六角ボルト、つりボルト、平ワッシャーおよびスプリングワッシャーは市販品をお求めください。

カバーの取り付け

1) アームカバーをアームに取り付ける (図 1)

- アーム端の下面にある 2 つの穴に、アームカバーの長辺内側の突起 (2 か所) を合わせ、その状態からアームカバーをアーム端にかぶせるように下から押し上げながらはめ込んでください。

2) 左側と右側のマウントカバーを壁掛取付金具に取り付ける (図 2)

- マウントカバーの矢印の刻印が上側になるように取り付けてください。
- アームの上下方向の位置が工場出荷時の状態から +10 mm を超えている場合は、左側と右側のマウントカバーを左右入れ替えて取り付けます。矢印の刻印が下側になるように取り付けてください。

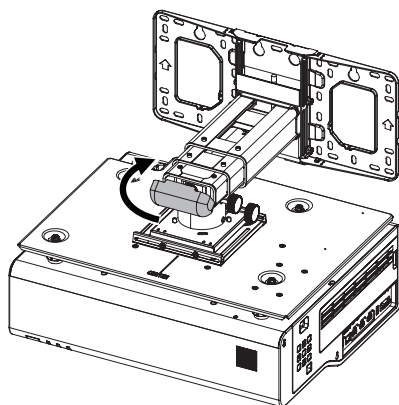


図 1

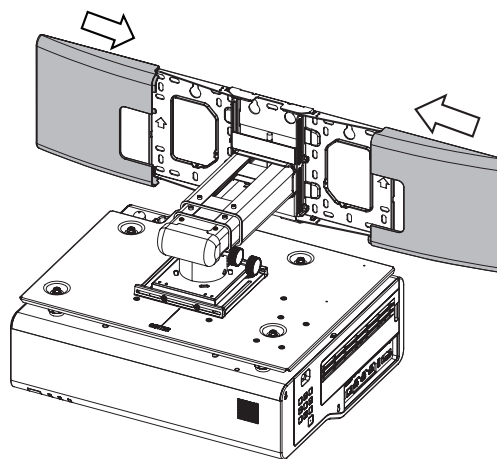


図 2

お知らせ

- アームカバーは、設置調整を終えたのちに取り付けることをお勧めします。
- イラスト上はワイヤーロープの表記を省略しています。

設置調整 (ET-WBC100)

壁掛取付金具を壁に取り付け後、壁掛取付金具の各種補正機能を使用して投写映像の調整を行います。

前後スライド、上下スライドの調整には、六角レンチまたは六角ボールポイントドライバー（対角 5 mm）が必要です。

この壁掛取付金具には、水平方向の回転調整と上下左右の傾き調整、さらに前後左右上下の位置調整の機能があります。

- プロジェクターの取扱説明書をご確認のうえ、プロジェクターから映像を投写して投写画面サイズとフォーカスをおおまかに合わせたのちに、設置角度と位置の調整、投写画面サイズの微調整を行ってください。
- 投写画面サイズは、スクリーンからプロジェクターまでの距離を変更することで調整できます。“投写画面サイズを調整する場合（前後スライド）”（ 16 ページ）をご覧ください。
- プロジェクターの [位置調整] メニューで台形補正をしていない状態で、投写された映像とスクリーンの各辺が平行になるように調整してください。スクリーン面とプロジェクターの前面が平行になっていない場合、台形ひずみが発生します。スクリーンとプロジェクターが正対しているかどうかを確認しながら、設置調整を行ってください。

お願い

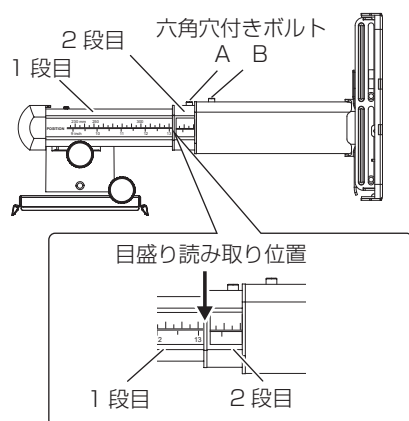
- 調整ダイヤルの調整範囲を超えてダイヤルを回すと、調整ユニットの破損、プロジェクターが落下するおそれがあります。

■ 投写画面サイズを調整する場合（前後スライド）

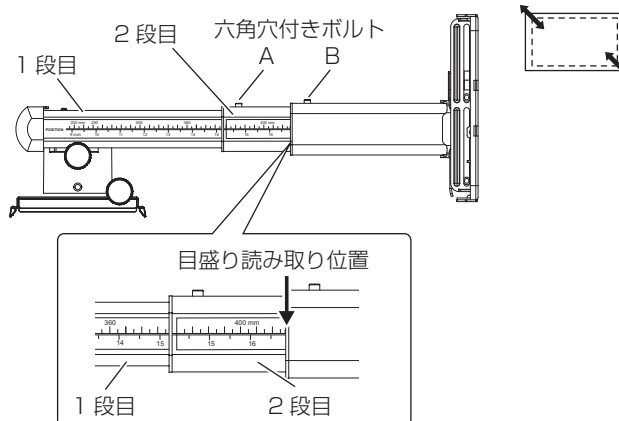
1) 六角穴付きボルト A または B (M4 × 6 mm) のいずれか 2 本を緩め、アームを引き出して投写画面サイズを調整する

- 壁掛取付金具を壁に取り付けたあと最初に投写画面サイズをおおまかに調整する場合は、実際に使用する投写画面サイズに対する「投写距離 (L)」または「スクリーン面からプロジェクター後面までの距離 (L1)」の寸法を用いて、あらかじめ「壁面から回転調整中心軸までの距離 (L4)」を算出しておいてください。L4 の計算式については、“投写関係寸法計算式”（ 9 ページ）をご覧ください。
- アーム右側面の "POSITION" 目盛りが、算出した L4 の数値に一致するようアームの引き出し量を調整してください。
 - 「壁面から回転調整中心軸までの距離 (L4)」が 225 mm ~ 375 mm の場合は、ボルト A (2 本) を緩めて、アームの 1 段目のみ引き出してください。
 - 「壁面から回転調整中心軸までの距離 (L4)」が 375 mm 超 ~ 495 mm の場合は、ボルト A (2 本) とボルト B (2 本) を緩め、アームの 1 段目を最後まで引き出してから、2 段目を引き出してください。

L4 が 225 mm ~ 375 mm の場合



L4 が 375 mm ~ 495 mm の場合



2) 手順 1) で緩めたボルトを締めつける

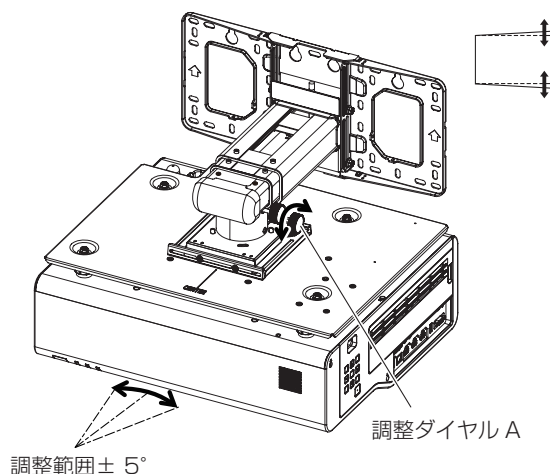
- 投写画面サイズの調整を終えたら、手順 1) で緩めたボルトをしっかりと締めつけてアームを固定してください。

設置調整 (ET-WBC100) (つづき)

■ 投写映像の上下辺が平行ではない場合（水平方向の回転調整）

1) 調整ダイヤル A を回して水平方向の台形ひずみを補正する

- 調整ダイヤル A を回してプロジェクターの向きを左右方向に回転させ、投写映像の上下辺が平行になるように調整してください。



■ 投写映像の左右辺が平行ではない場合（上下方向の傾き調整）

1) 壁掛取付金具本体からアームカバーを取り外す（図 1）

- カバーの上側から取り外してください。

2) 調整ダイヤル B を回して垂直方向の台形ひずみを補正する（図 2）

- 調整ダイヤル B を回してプロジェクターの上下方向の傾きを調整し、投写映像の左右辺が平行になるように調整してください。

3) アームカバーをアームに取り付ける

- 詳しくは、“カバーの取り付け”（ 15 ページ）をご覧ください。

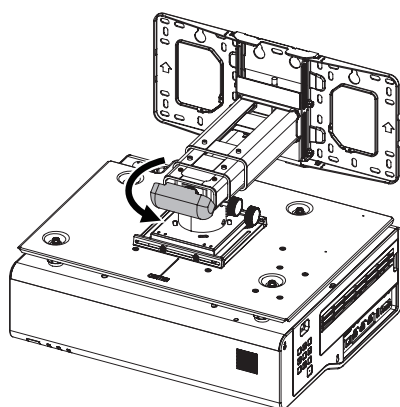


図 1

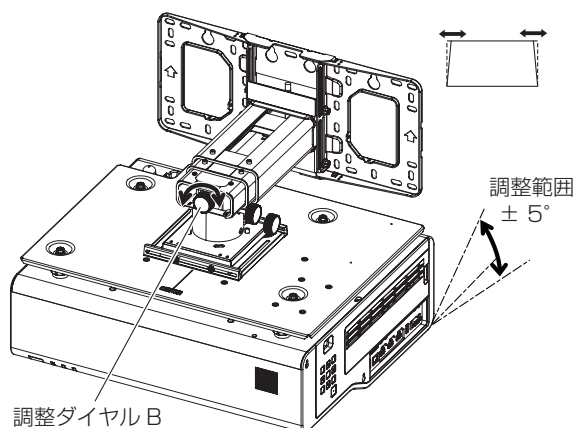


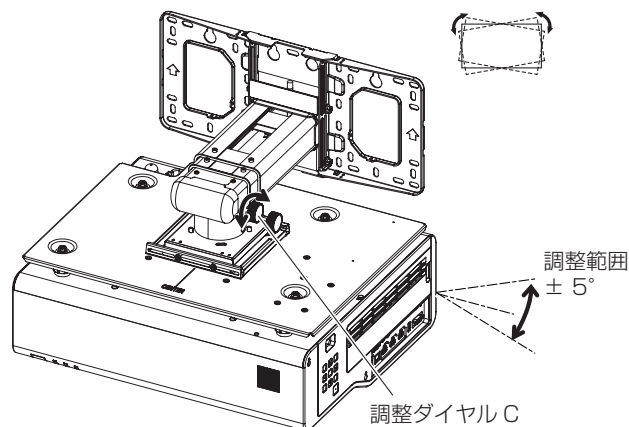
図 2

■ 投写映像が左または右に傾いている場合（左右方向の傾き調整）

1) 調整ダイヤル C を回して映像の回転を補正する

- 調整ダイヤル C を回してプロジェクターの左右方向の傾きを調整し、投写映像の傾きがなくなるように調整してください。

設置調整 (ET-WBC100) (つづき)



■ 投写映像が上または下に位置ずれしている場合（上下スライド）

1) アーム根元の六角穴付きボルト (M6 × 15) 4 本を六角レンチまたは六角ボールポイントドライバーで均等に緩める

- 六角穴付きボルトは緩めすぎないでください。必要以上に緩めるとボルトが外れ、プロジェクターが落下するおそれがあります。

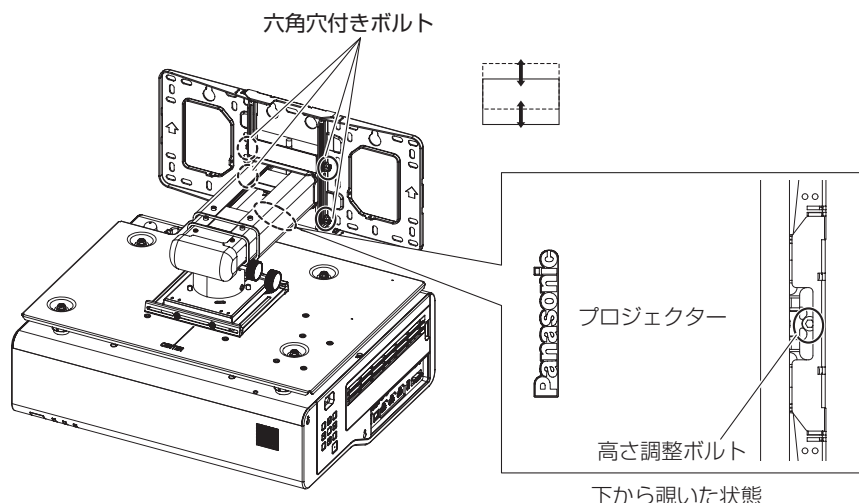
2) 高さ調整ボルトを回して、映像の上下方向の位置を調整する

- 壁掛取付金具の中央下側に位置する高さ調整ボルトを回し、投写映像の位置を調整してください。
- 六角ボールポイントドライバーなどの工具が金具に干渉して高さ調整ボルトを回せない場合は、アーム右側面の“POSITION”目盛りを確認して前後スライドの調整位置を把握したうえで、アームを引き出した状態で高さ調整ボルトを回してください。高さ調整を完了後、アームの状態を元に戻してください。アームの引き出し方については、“投写画面サイズを調整する場合（前後スライド）”（ 16 ページ）をご覧ください。
- 工場出荷時は、投写画面サイズ 80 型～ 90 型で使用することを想定した高さ調整ボルトの状態に設定しています。
 - 投写画面サイズ 80 型^{*1}～ 90 型で使用する場合、工場出荷時の状態から ± 10 mm の範囲内でアームの上下方向の位置を調整してください。
 - 投写画面サイズ 90 型超～ 120 型で使用する場合、工場出荷時の状態から -10 mm ～ +40 mm の範囲内でアームの上下方向の位置を調整してください。
 - 工場出荷時のアームの位置は、アームを最も下の位置に調整した状態から上方向に +10 mm スライドさせた位置になります。

^{*1} アスペクト比 4:3 の場合は 70 型になります。

3) 手順 1) で緩めたアーム根元の六角穴付きボルト (M6 × 15) 4 本を、六角レンチまたは六角ボールポイントドライバーで均等にしっかりと締めつける

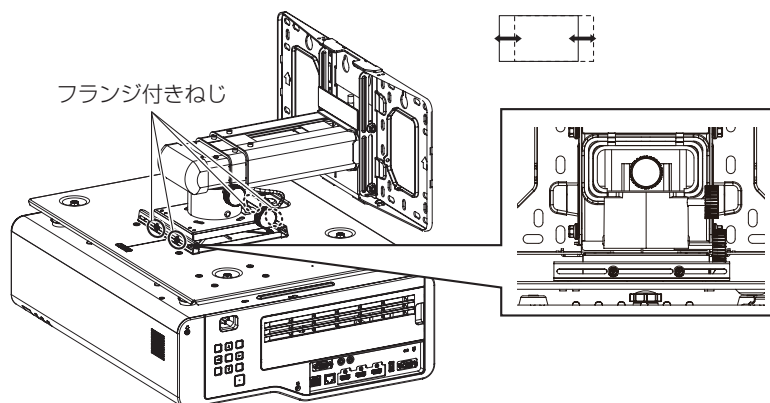
- 締めつけトルク：2.5 ± 0.2 N・m



設置調整 (ET-WBC100) (つづき)

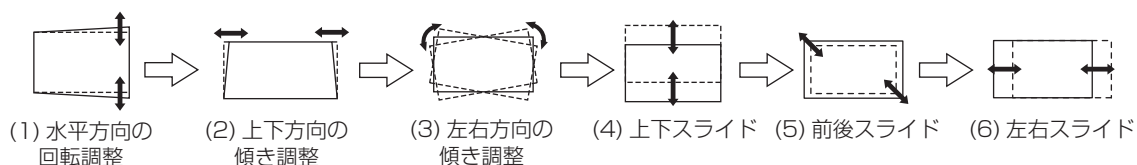
■ 投写映像が左または右に位置ずれしている場合 (左右スライド)

- 1) 取付用ベース金具セットのフランジ付きねじ (M4 × 10) 4 本を緩める
- 2) プロジェクターとともに取付用ベース金具セットをスライドさせて、映像の左右方向の位置を調整する
- 3) 投写映像の左右方向の位置調整を終えたら、手順 1) で緩めたフランジ付きねじ (4 本) をしっかりと締めつける



お知らせ

- 投写映像の位置がずれていたり、傾いたりしている場合は、次の (1) ~ (6) の順に調整をくり返してください。調整手順 (1) ~ (3) で映像のひずみを少ない状態にしてから、調整手順 (4) ~ (6) の調整を行うことをお勧めします。



- プロジェクターの [位置調整] メニューで台形補正をしていない状態で設置角度の調整をしても映像が台形にひずんでいる場合は、スクリーン面に対するプロジェクター向きが傾いています。スクリーンとプロジェクターが正対して設置されているか確認してください。
- イラスト上はワイヤーロープの表記を省略しています。

取付用ベース金具の交換 (ET-PKC300B)

連結プレートの取り外し

- 1) 壁掛取付金具に取り付けられている左右のマウントカバーを取り外す (図 1)
- 2) プロジェクターに接続されているケーブル類を取り外す
- 3) 壁に固定している落下防止用のワイヤーロープを取り外す (図 1)
- 4) 取付用ベース金具セットを壁掛取付金具本体に固定しているフランジ付きねじ (M4 × 10) 4 本を外す (図 1)
 - プラスドライバーが金具に干渉して壁面側のフランジ付きねじを締めつけられない場合は、アームを引き出したうえでねじを締めつけてください。アームの引き出し方については、“投写画面サイズを調整する場合 (前後スライド)” (16 ページ) をご覧ください。
- 5) プロジェクターが取り付けられた状態で、取付用ベース金具セットを右方向へスライドさせて、壁掛取付金具本体から取り外す (図 1)
- 6) 柔らかい布などの上に、プロジェクターを天面を下にして置く (図 2)
- 7) 取付用ベース金具セットをプロジェクターに固定している座金組み込みねじ (M6 × 16) 4 本を取り外す (図 2)
- 8) 取付用ベース金具セット上の座金組み込みねじ (M4 × 14) 4 本を取り外して、取付用ベース金具と連結プレートに分離する (図 2)

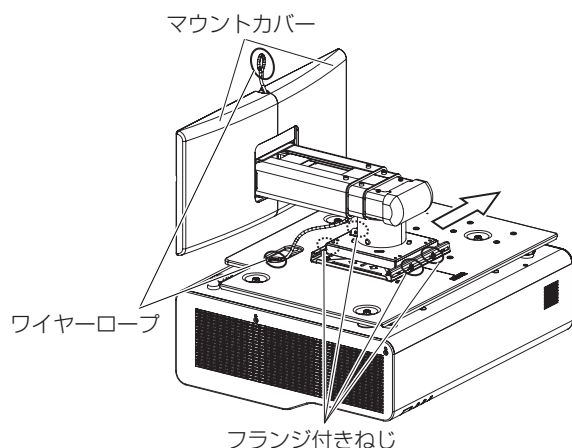


図 1

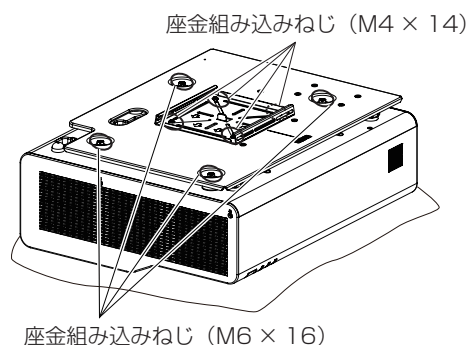


図 2

連結プレートの取り付け

- 1) 連結プレートの 4 つの長穴の先端を、取付用ベース金具の 4 か所のねじ穴に合わせる
 - 取付用ベース金具上の「CENTER」の刻印が手前にしたときに、連結プレート上に刻印されている矢印が左側に向くように置いてください (図 1)。
- 2) 付属の座金組み込みねじ (M4 × 14) を 4 本で、新しい取付用ベース金具に連結プレートを固定する (図 2)
- 3) 付属の落下防止用のワイヤーロープ、新しい取付用ベース金具をプロジェクターに取り付ける
 - “プロジェクターへの落下防止セットの取り付け” (10 ページ)、“プロジェクターへの取付用ベース金具セットの取り付け” (11 ページ) に従って取り付けてください。

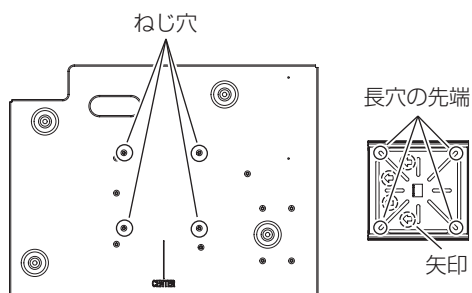


図 1

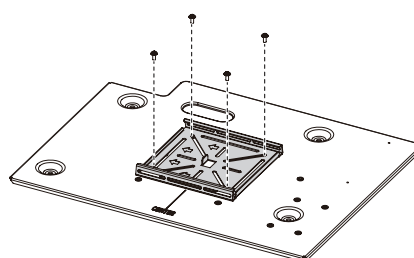


図 2

仕様 (ET-WBC100)

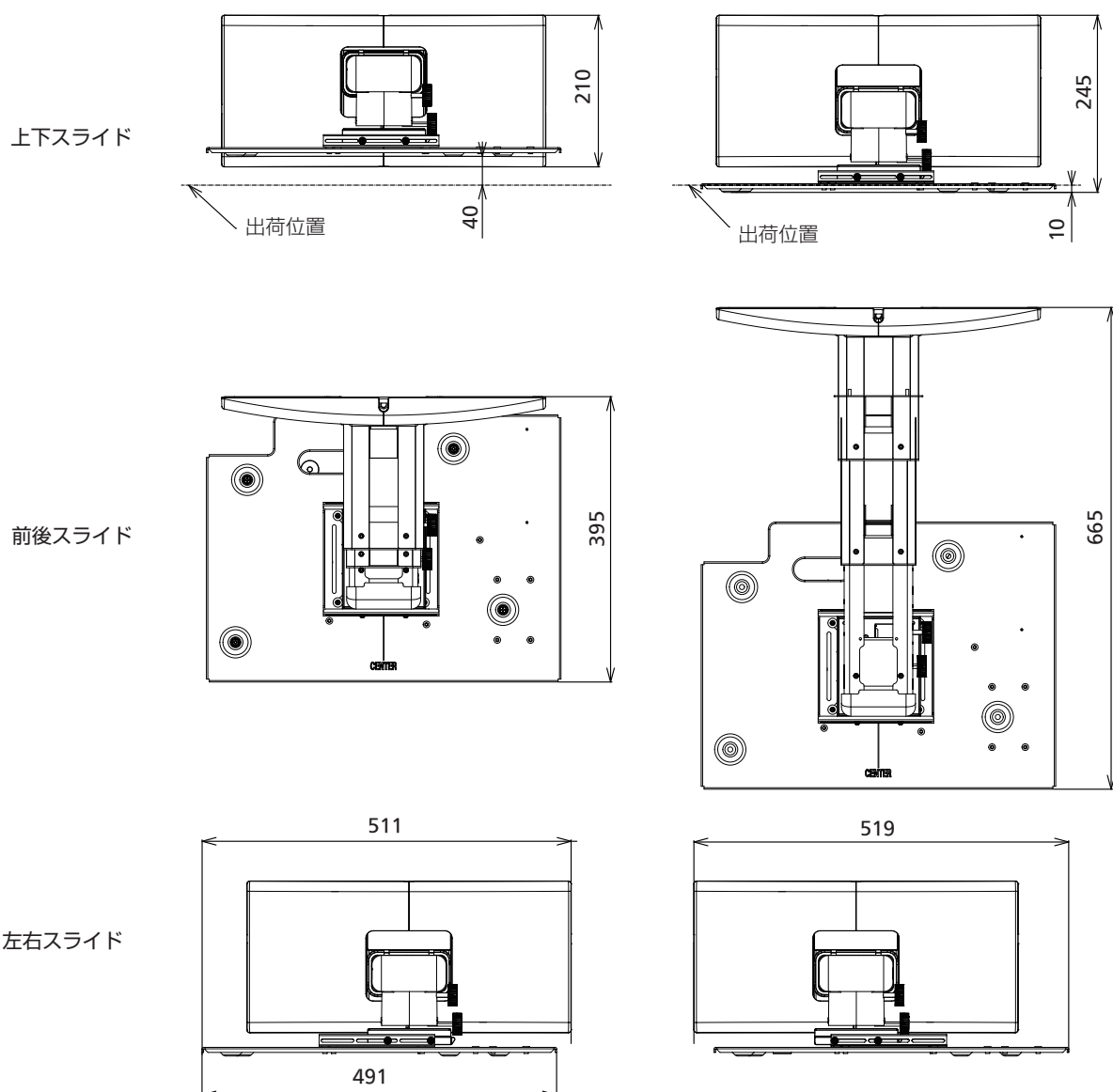
調整範囲	水平方向の回転角度	$\pm 5^{\circ}$
	上下方向の傾き角度	$\pm 5^{\circ}$
	左右方向の傾き角度	$\pm 5^{\circ}$
	上下スライド量	投写画面サイズ 80 型 ^{*1} ～ 90 型の場合：-10 ～ +10 mm 投写画面サイズ 90 型超～ 120 型の場合：-10 ～ +40 mm
	前後スライド量	0 ～ 270 mm
	左右スライド量	- 41 ～ 49 mm ^{*2}
組み立て外形寸法		横幅 491 ～ 519 mm 高さ 210 ～ 245 mm 奥行 395 ～ 665 mm
質量		約 8 kg

*1 アスペクト比 4:3 の場合は 70 型になります。

*2 途中スライドできない範囲があります。

■ 外形寸法図

(単位：mm)

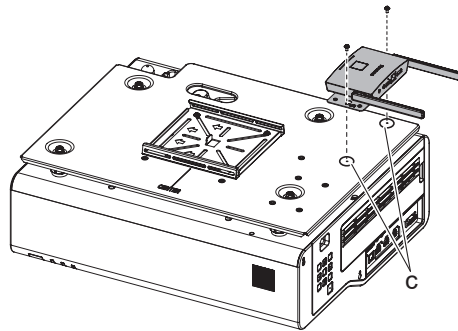


付録

別売のワイヤレスプレゼンテーションシステム受信機（品番：TY-WPR1）と 4K インテグレートッドカメラ（品番：AW-UE4KGN、AW-UE4WGN）を利用するためには、以下の手順に従って取り付けてください。

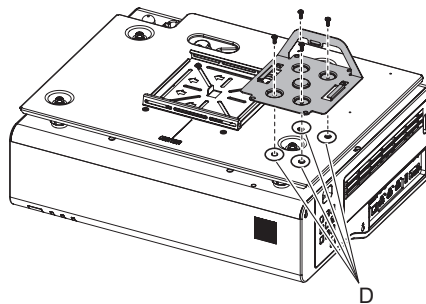
ワイヤレスプレゼンテーションシステム受信機の実装

- 1) 受信機に付属の実装金具を、受信機に取り付ける
• 詳細は受信機の実装説明書をご確認ください。
- 2) 受信機に付属のねじ（C-3：M3 × 8）2 本を使用して、実装用ベース金具セットの C 部に固定する



4K インテグレートッドカメラの実装

- 1) カメラに付属の実装キットを、カメラに取り付ける
• 詳細はカメラの実装説明書をご確認ください。
- 2) カメラに付属の L 字型マウントを、カメラに付属の M4 ねじ（長さ 10 mm）4 本を使用して実装用ベース金具セットの D 部に固定する



- 3) カメラに付属の M4 ねじ（長さ 5 mm）4 本を使用して、カメラとともに実装キットを L 字型マウントに固定する
• 詳細はカメラの実装説明書をご確認ください。

MEMO

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話 ☎ 0120-872-601